

経済情勢座談会

田中 修

はじめに

7-9 月期 GDP の発表を 10 月 19 日に控え、李克強総理は 10 月 13 日に一部省（区・市）責任者経済情勢座談会、10 月 16 日に金融企業座談会を開催した。本稿では、各座談会の概要を紹介する。

1. 一部省（区・市）責任者経済情勢座談会（10 月 13 日）

（1）出席者

- ①政府：李克強総理、劉延東・汪洋・馬凱副総理、楊晶・王勇国務委員
- ②地方政府側報告者：天津・上海の両市長、江蘇省・浙江省・安徽省・湖北省・雲南省の各省長、広西チワン族自治区主席

（2）地方政府側の認識

今年に入り、内外経済情勢は錯綜し複雑で、リスク・試練が増大しているが、党中央・国務院のコントロール政策はタイムリーに力を発揮し、改革は不断に強化された。各地は圧力に耐えぬいて実際的な施策を打ち出し、ブレークスルーを追求した。わが国の経済は、総体として平穏な発展を維持し合理的区間にあり、一部指標の変動は、経済が好転しているというファンダメンタルズを変えてはいない。構造調整は注目点が次々に現われ、民生はかなり好い保障を得ているが、成長を安定させ効率を高めるには、なお大きな努力を払う必要がある。

（3）李克強総理の講話

現在、わが国経済は新旧動力エネルギーの転換という非常に困難なプロセスにある。

旧動力エネルギーの弱体化は経済の下振れ圧力を増大させているが、新しい動力エネルギーも急速に成長しており、地域経済動向には分化が現われている。

発展への自信を確固とするとともに、憂患意識を強め、安定の中で前進を求めることを堅持し、上下が心をつにして、好転の傾向を強固にすることに力を入れ、下振れ要因を有効にヘッジし、年間の発展主要目標・任務の達成を確保しなければならない。

今後、マクロ・コントロール方式を引き続き刷新し、方向を定めたコントロール・タイミングを見計らったコントロールを精確に実施し、アンチシクリカルな調節を強化し、潜在リスクをしっかりと管理・コントロールし、経済のファンダメンタルズを打ち固め、発展の新たな動力エネルギーを育成しなければならない。

①構造改革を深化させる

大衆による起業・万人によるイノベーションを推進し、「インターネット+」・「中国製造2025」と結びつけ、新しいタイプの工業化と情報化の深い融合を促進し、工業のインテリジェント化改造・グレードアップを加速する。

供給の刷新・新業態の拡大等を通じて、構造の調整・最適化を促進する。

②人を核心とした新しいタイプの都市化と農業現代化の推進を協調して進める

これらの中国経済の巨大な潜在力・優位性を十分利用して、有効な投資・消費の拡大を牽引する。

水利・中西部鉄道・バラック地区改造・都市地下共同溝等の重大プロジェクト建設を早急に推進し、産業と都市の融合を促進し、多くの措置を併せて打ち出して消費のグレードアップを推進し、経済成長に対する消費の牽引作用を高める。

③よりハイレベルな対外開放を推進する

自由貿易地域のプラットフォームを利用して、開放を深化させるという要求に適応した体制メカニズムを積極的に模索し、国際情勢の変化に臨機応変に対応する中で利に赴き害を避け、協力・ウインウインの中で発展の空間を開拓する。

今後の政策を更に好く行うカギは、中央と地方の2つの積極性を十分に発揮し、各種企業の積極性を十分に奮い立たせ、広範な幹部・大衆の積極性を十分動員しなければならないということである。

より大きな政策決定の自主権、資金の統一的な企画権、改革の先行実施・先行テスト権を地方に与えることにより、事業を行う意欲と能力のある地方に、より多くの支援を獲得させる。

国有企業の改革の深化・メカニズムの刷新・活力の増強を推進し、小型・零細企業と、市場があり収益の高い企業への支援を引き続き増やし、良好な融資・ビジネス環境を作り上げる。

合理的な「失敗を許容するメカニズム」と完備された奨励メカニズムを用いて、起業者・イノベーターの活力が不断に沸き起こるようにする。

情勢がますます複雑で変化に富むときは、新たな情況・新たな問題をますます積極的に検討し、政策の展望性・予見性を強め、政策の量的な前倒しをしっかりと行わなければならない。

当面を安定させるだけでなく長期を謀るためには、各地方・各部門の発展推進への責任を強化し、行政面で怠惰・不作為の幹部に対しては厳格に責任を追及して、発展促進・民生保障の約束を断固として実現し、年間目標・任務の達成の基礎の上に、来年の発展のために条件を創造しなければならない。

2. 金融企業座談会（10月16日）

（1）出席者

- ①政府：李克強総理、張高麗・馬凱副総理、楊晶国務委員、周小川人民銀行行長
- ②金融側報告者：農業発展銀行・建設銀行・郵貯銀行・重慶農商銀行・全国中小企業株譲渡システム・中国人民保険集団の責任者

（2）李克強総理の講話

金融は、経済の平穏な運営と構造調整の促進のために有力な支えを提供する。

現在、内外経済情勢は依然として錯綜し複雑であり、穏健な金融政策という方向を引き続き堅持し、政策の緩和と引締め of 適切な度合を維持し、的確性・柔軟性を増強し、金融の市場化改革と法治化建設の推進を堅持し、リスクを防止する基礎の上に金融イノベーションを促進して、実体経済の発展のために良好な金融環境を作り上げなければならない。

金融は実体経済と密接に連携しており、相互に促進し共生するものである。

現在経済は下振れ圧力に直面しており、マクロ政策の安定を維持すると同時に、安定成長・構造調整・民生優遇を軸に金融機関がサービス方式を刷新するよう誘導し、資金調達難・資金調達コスト高を有効に打破し、実体経済に対する支援を増大しなければならない。

①流動性の合理的な充足と貸出総量の適度な伸びを維持しなければならない

方向を定めたコントロールを強化し、重点分野・脆弱部分と小型・零細企業を支援し、サービスの手数料を引き下げなければならない。

②貸出への分類指導を強化し、支援するものと抑制するものを区別しなければならない

先進製造業等の新興産業の発展と伝統産業のグレードアップ・改造を支援し、継続貸付の管理を更に改善し、市場の先行きが良好で一時的に困難となっている企業に対しては不断に貸出しを行い、貸しはがしてはならず、破産・再編する企業に対しては必要な資金を支援する。

③開発政策金融の役割を発揮しなければならない

バラック地区改造・水利・中西部鉄道等の分野への金融サービスを増やし、PPP等の方式のために合理的な資金調達ルートを手配し、より有効に社会資金を吸引し公共財・サービスの供給に参加させなければならない。

④国家誘導基金・政府債務保証システム等の役割を発揮させなければならない

大衆による起業・万人によるイノベーションに適応する金融商品・サービスを、金融機関が積極的に提供することを奨励し、経済の新たな動力エネルギーを育成しなければならない。

改革開放は、金融の発展を推進する強大な動力である。わが国のマネー・プールの水は少なくないが、実体経済への伝達はなお少なからぬ体制メカニズムの障害が存在する。こ

れに対しては、大水による灌漑に頼っても何の役にも立たず、むしろ改革開放に依拠して打破し、金融コントロール・サービスの有効性を高めなければならない。

①様々なレベルの広範囲をカバーする、差別化された金融機関システムの形成を推進する

金融業への参入を緩和し、中小金融機関と民営銀行の発展を加速し、インターネット金融が実体経済に依拠して規範的に秩序立って発展することを奨励する。

②金融商品の金利が市場により決定される健全なメカニズムを整備する

金利の市場化改革を更に推進し、人民元レート形成メカニズムを徐々に整備し、合理的な均衡水準での為替レートの基本的安定を維持する。

③制度建設を際立たせて強化する

公開透明で長期に安定し、健全に発展する、多様化した資本市場を引き続き積極的に育成し、地域的な証券取引市場を規範的に発展させ、健全な債券市場の構造を整備し、直接金融のルートを開拓する。

④保険業のイノベーション・発展を推進する

保険の保障・資金の融通・財産の管理機能を強化し、保険投資基金を運用して有効な投資を拡大し、経済発展により好くサービスする。

⑤金融業のよりハイレベルな対外開放を促進する

人民元の資本項目の兌換化を順序立てて推進し、外資の市場参入のハードルを更に緩和し、自由貿易試験区をうまく用いて金融の双方向への開放のテストプラットフォームとし、コピー可能な経験を普及させる。

外貨準備の使用方式を刷新し、シルクロード経済ベルト・21世紀海のシルクロード建設と国際生産能力協力という2つの優先プロジェクトへの貸出規模・使用範囲を拡大し、多様な方式でこの2つのために全方位的なサービスを提供する。

金融の健全な運営を擁護し、金融リスクを有効に防止・解消し、社会の予想を誘導し安定させなければならない。金融監督管理の枠組みを不断に整備し、協調を強化し、監督管理の盲点を消去し、監督管理の有効性を高める。システムリスクの健全なモニタリング・評価・防止システムと応急処置メカニズムを早急に整備し、違法な資金調達等の法規に違反した行為を厳格に取り締まる。

関係方面は金融機関の奨励・規制メカニズムを更に整備し、彼らが延滞・不良債権を審査・償却し、債務逃れ・踏倒しを厳格に調査・処理するために良好な政策環境を創造する。金融機関は内部管理を強化し、自身の潜在力を深く掘り下げ、サービス水準を高め、競争力を増強しなければならない。

システムリスクを発生させない最低ラインを断固として守り、経済の持続的で健全な発展のために新たな貢献を行わなければならない。

(10月20日記)